

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和8年7月7日

施設名	文学館	所管課	文化振興課
-----	-----	-----	-------

1 施設の概要

指定管理者名	高知県文化財団	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設所在地	高知市丸ノ内1-1-20		
事業内容	・文学に関する書籍、原稿、文献、写真、フィルムその他の資料及び文学者の遺品等(以下「文学資料等」という。)を収集し、保管し、及び展示し、並びに閲覧に供すること。 ・文学資料等の調査研究 ・文学に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の教育普及活動 ・企画展示室、ホール及び茶室の提供 ・上記のほか、文学館の設置の目的を達成するために必要な業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 〈建物〉延べ床面積:2,748㎡ RC造地上2階建 〈土地〉 4,266㎡ 〈主要施設〉 常設展示室、企画展示室、寺田寅彦記念室、ホール、茶室など 〈開館時間〉午前9時～午後5時 〈休館日〉 12月27日～1月1日 〈主な料金〉 常設展 一般400円 ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料 施設利用料 企画展示室 23,720円(1日) ホール 12,780円(全室/1日) 茶室 3,660円(全室/1日)		
職員体制	常勤職員: 6人 非常勤職員: 10人 合計: 16人		

* 職員数は令和8年7月1日現在 欠員1人は9月1日採用予定

2 収支の状況

単位:千円

		6年度(決算)	7年度(決算)	8年度(予算)
収入	県支出金	140,174	148,592	156,176
	使用料・手数料	7,147	5,843	5,915
	その他	2,970	4,900	2,123
	収入計 (a)	150,291	159,335	164,214
支出	事業費	38,980	44,616	33,747
	管理運営費	25,528	57,235	73,713
	人件費	78,318	54,584	56,754
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	142,826	156,435	164,214
収支差額 (a)-(b)		7,465	2,900	0

3 利用状況

	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	22,933	18,542	22,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) ・1階休憩コーナーと2階ロビーにアンケート用紙と筆記用具、回収箱を設置している。 ・R7年度にWebのアンケートシステムを導入した。 ・R7年度の回答数は275枚、回収率は1.5%であった。 ・調査結果は、県内の観覧者が78.9%、満足度は企画展が93.5%、スタッフの対応が87.6%などであった。 ○ 利用者意見等を踏まえた対策 ・企画展示室の順路が分かりにくかったとの意見があり、寺田室との接続部分に案内図を掲示した。 ・こどものふんがく室の靴を脱ぐ位置が分かりにくいとの意見があり、土足禁止のポスターを適切な高さに貼りなおすとともに、靴を脱ぐ位置(床)にイラストを貼った。 ○ その他		
③その他特記事項			

4 年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	・建物、設備の管理については、事前に修理を行い、必要に応じて安全対策を行うなど観覧者の安全性や快適性を保つ等、適切な管理運営が遂行されたと認められる。
②利用者サービスの維持向上	・来館者アンケートの実施や、定例会等の自己点検により、利用者サービスの維持向上、改善に努めている。 ・各種研修会に積極的に参加するなど、職員の専門性の向上が展示内容の充実へ繋がっている。
③利用実績	・常設展、企画展の合計入館者数は18,532人で、令和7年度の目標年間利用者数の23,200人を下回った。第4期指定管理期間の要求水準である年間22,000人という観覧者数目標は、新型コロナウイルスの流行による休館のあった令和2年度依頼5年ぶりに達成できなかった。 ・教育普及事業参加者は6,148人で、目標参加者数の4,800人を上回っている。
④収支の状況	・ミュージアムショップの販売に力を入れるなど、収入増への努力を行うことができている。 ・職員が展示物を自作し、経費削減のための工夫を凝らすことができている。

A～Dの4段階評価の結果を記入 総合評価	A ・常設展示の充実を図るための計画的な展示内容の見直し、全国から注目を浴びるような魅力ある企画展や関連イベントの開催、広報媒体の工夫など、日頃から地道で継続的な取組が評価できる。 ・子ども向けの企画展では体験展示を実施するなど、より文学を身近に感じてもらえるような新たな試みに挑戦している。また、子ども向けであっても、展示内容を工夫することで大人も楽しめるような工夫が細部にわたってちりばめられている。 ・第4期指定管理期間の要求水準である年間観覧者数22,000人は達成できなかったものの、毎朝入館者数を全員で確認し、適宜必要な広報活動を追加する等、館全体で目標達成に向かう努力がみられる。なお、教育普及事業は、目標である参加者4,800人を達成できている。 ・職員が事業運営や職員活動に対する様々な意見を出し合い、サービス向上のための改善や広報の工夫、お話キャラバンや高校生ボランティアの活用などに幅広く取り組んでおり、県の観光キャンペーンにも積極的に協力し、優れた管理運営、事業の遂行がされたと認められる。 ・海外観光客の誘致に対する工夫として、外国語の看板、館内の作家案内、夏の企画展におけるキャプションの英訳展示など、積極的に新しい取組を実施する前向きな姿勢が認められる。 ・県出身の顕彰作家企画展の集客力向上に期待する。 以上のことから、要求水準を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされたと認められる。
--	---

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの